

お知らせ

<同時資料提供先>

令和2年11月26日

合同庁舎記者クラブ・鳥取県政記者会・島根県政記者会・岡山県政記者クラブ・広島県政記者クラブ・山口県政記者クラブ・山口県政記者会・山口県政滝町記者クラブ・中国地方建設記者クラブ

自社製品やサービスを紹介する民間事業者を募集します！

～インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」第3回ピッチイベント～

○地方自治体が抱える施設管理に関する以下の2つの課題に対して、ピッチイベントにおいて課題解決に繋がる自社製品やサービス技術を紹介する民間事業者を募集します。

応募〆切：令和2年12月10日（木）まで

応募方法：インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」のホームページに掲載している所定様式に必要事項を記入の上、電子メールにて事務局宛まで送付

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」 <http://www.cgr.mlit.go.jp/im/index.html>

【第3回ピッチイベント】

- 開催日時：令和2年12月22日（火） 10:00～12:30（予定）
- 場 所：広島YMCA国際文化ホール（広島市中区八丁堀7-11）
- 参加者：地方自治体の維持管理担当者・民間企業（メンテナンス関係）
- 課 題：No.1 下水道施設において発生する硫化水素により通常より急速に劣化が進むコンクリート構造物の腐食劣化対策
No.2 プラスチック貯留材等を利用した仮設盛土の代替え工法

○ピッチイベントは、新技術などについて短いプレゼンテーションを行うものであり、地方自治体が抱える課題解決に繋がる技術の発掘を行い企業間の連携や社会実装に繋げるとともに、これらの技術を広く共有することを目的としています。

○ピッチイベントの傍聴希望者も同時に募集します。（定員・80名）

○ピッチイベントの参加申込要領や申込式等は、インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」のホームページに掲載しています。

○中国地方整備局は、産学官民の技術や知恵を総動員するプラットフォームとなるインフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」の取り組みを支援しています。

（取材について）

当日は報道席を設けており、本会議の資料は会場にて配布いたします。報道席へご案内いたしますので、ご来場頂いた際は、受付までお越しください。

○問い合わせ先

【ピッチイベントの内容に関すること】 「ちゅうごく」HP URL：<http://www.cgr.mlit.go.jp/im/index.html>

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会（事務局）

（復建調査設計株式会社 保全構造部内）TEL：082-506-1814

藤井 友行（E-mail：icim-chugoku@fukken.co.jp）

【インフラメンテナンス国民会議に関すること】

国土交通省中国地方整備局 TEL：082-221-9231

企画部事業調整官 藤原 浩 幸（内線3116）

広域計画課課長補佐 佐々田 敬 久（内線3212）

【広報担当窓口】

広報広聴対策官 加藤 浩 士（内線2117）

企画部環境調整官 後藤 寿 久（内線3114）

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」

第3回ピッチイベントの開催

【プレゼンを希望する民間企業等及び傍聴参加者の募集】

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」では、地方自治体等の施設管理者が抱える施設管理の課題(ニーズ)について、民間企業等が保有する技術やノウハウを持ち寄り、シーズ技術を広く共有し、技術の発掘と社会実装、連携の促進を図る第3回ピッチイベントを下記のとおり開催いたします。

つきましては、別紙-1に示す2つのテーマに対し、保有するシーズ技術をプレゼンテーションしていただく民間企業等及び傍聴参加者を募集します。

本ピッチイベントの結果、施設管理者のニーズに適応する可能性が高いと認められた技術については、実用化の可能性を検証するフィールド実証試験の実施を想定しています。なお、実証試験に必要な諸費用については、原則として民間企業等のご負担とします。

記

- 開催日時 : 令和2年12月22日(火) 10:00~12:30
- 開催場所 : 広島YMCA国際文化ホール (広島市中区八丁堀 7-11)
- 対象テーマ
 - No. 1 下水道施設において発生する硫化水素により通常より急速に劣化が進むコンクリート構造物の腐食劣化対策
 - No. 2 プラスチック貯留材等を利用した仮設盛土の代替え工法

お問い合わせ先

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」 企画委員会

藤井友行、天満真士 (復建調査設計株式会社)

E-mail : jcim-chugoku@fukken.co.jp

TEL : 082-506-1814

FAX : 082-506-1891

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」とは

老朽化するインフラが急増するなか、限られた予算で対応するためにはインフラメンテナンスを効率的、効果的に行う体制を確保する必要があります。

「インフラメンテナンス国民会議」はインフラという地域の資産を維持するために行政だけではなく、産官学民の連携による持続可能な維持管理や予防保全の取組が重要であるとの観点から、確実かつ効率的なインフラメンテナンスの実現を図ることを目的として設立されました。

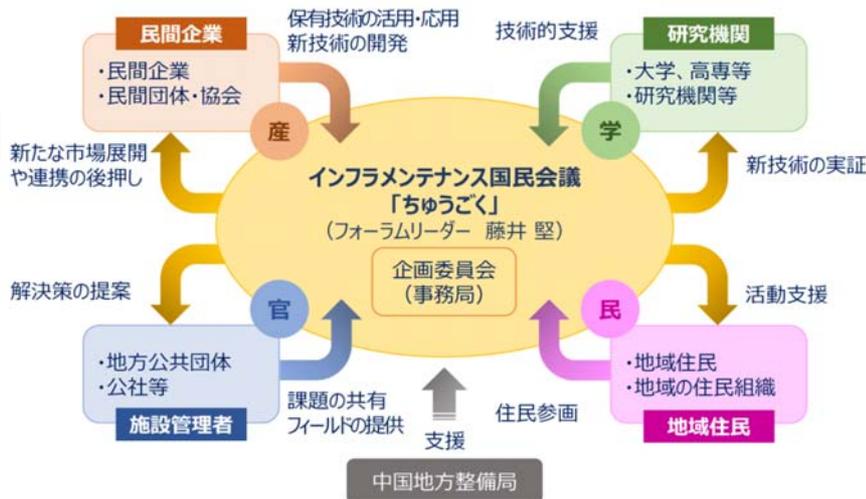
インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」は「インフラメンテナンス国民会議」の地方フォーラムとして平成30年3月に設立しました。

インフラメンテナンス国民会議の目的

- ① 革新的技術の発掘と社会実装
- ② 企業等の連携の促進
- ③ 地方自治体への支援
- ④ インフラメンテナンスの理念の普及
- ⑤ インフラメンテナンスへの市民参画の推進

国民会議「ちゅうごく」(中国フォーラム)の活動

- ① 地方自治体の支援（企業等との連携）
 - ✓ 施設管理者の持つ課題の共有と解決策の提案
 - ✓ メンテナンスの効率化・高度化に資する技術の紹介
- ② 民間企業と連携した中国地方発の技術開発
 - ✓ 施設管理者のニーズを踏まえた技術開発
 - ✓ 地元のメンテナンス産業の育成、拡大
- ③ 地域における市民等の連携の推進
 - ✓ 地域住民のメンテナンスへの理解促進
 - ✓ インフラメンテナンスにおける住民参画の事例収集



インフラメンテナンスに関する課題解決

施設管理者が抱える
インフラメンテナンスの
ニーズに関する情報を
得ることができます。

メリット 1
施設管理者のニーズ
を幅広く得ることが
できます

メリット 2
新技術、商品などを施設管
理者等に紹介する場を
提供します。

メリット 3
相談が必要になったと
きは、専門家を紹介し、
整備局もサポートしま
す。(専門家も会員)



**ニーズに関する
情報共有**

企業会員と
情報共有

中国地方整備局に
よるニーズ調査
(毎年実施)

施設管理者(自治体)

新技術紹介の場

多くの自治体の担当職員
に対して紹介ができます

担当者からの質問

デモンストレーション

専門家の先生方

フォーラムリーダー
藤井 堅
(広島大学名誉教授)

メンター
宮本文穂
(山口大学名誉教授)

メンター
赤木恭吾
(岡山大学大学院
特任教授)